

合格体験記 K. I.

今回、2次筆記試験3回目、足掛け5年の診断士受験生活に無事終止符を打つことができました。

その間、私はMMCのほか、大手専門学校やweb専門の通信講座などを受けてきましたので、自分の受験生としての歩みを、MMCや他の受験校に対する感想を織り交ぜながら文章にしました。

これを読んで、みなさまの方の学習方法の一助になれば幸いです。

<本人の特性（得意科目・不得意科目）>

二次試験での得意科目は「事例4（財務）」、
不得意科目は「事例1（組織）」「事例3（生産）」です。

<受験歴>

2016年1次試験 科目合格（財務会計のみ）

2017年1次試験合格 2次試験不合格（CCBA/B）

2018年2次試験不合格（CACB/B）

2019年1次試験 科目合格（合計で420点を超えたのですが、中小で足切り。）

2020年1次試験合格 2次試験合格（成績は取り寄せ中）

<2次試験1回目の不合格・MMCを選んだきっかけ>

1年目（2016年・2017年）は大手予備校に通学しました。大手だったため、通学講義の振替や改正点の対応などが手厚く、とても性に合っていたと感じました。

その後、1次試験通過には2年かかりましたが合格をしまったので、このまま2次試験の合格まで行けばいいなと安易に考えていました。

そして、その年の1次試験受験後から2次試験のカリキュラムが始まったのですが、その解き方というのがいわゆる予備校のメソッドに沿った、設問文・与件文の読み方や解答解釈についての講義で、これが私には全くもってしっくりきませんでした。

なぜなら、どんなに設問文・与件文の読み方や解答解釈を勉強しても配布される解答解説にたどり着かず、結果として点数も伸びなかったからです。

また、回答を提出してから返却されるまでの時間が長く、自身の回答に対する採点者のフィードバックを次回の演習に生かすこともままなりませんでした。このように、復習のタイミングがわからないまま2次試験のカリキュラムが進んでいきました。

案の定、その年の2次試験は事例4を除きボロボロでした。

試験後、これから2回目の2次試験にどう取り組んでいくか悩んでいましたので、そのことを企業内診断士として活躍していた友人に相談したところ、MMCを紹介されました。

そこで早速MMCの講座説明会に参加したところ、自分の求めているものがこれであると共感しました。

特に共感した点は、

- ・ 60点(合格に必要な最低点)を目指す。(つまり)必要以上に時間をかけない、勉強しない。
- ・ 文章の型を決めて、設問に率直に回答する。(つまり)80分で書ける内容を事前に準備する。

これなら自分にも回答が作成できると思いました。

そして、私の2次試験の仕切り直しが始まりました。

実際に講義を受けて、先ほどの共感した点の他に、

- ・ 事例1での設問要求に対して、戦略的思考な(組織・人事に直接関係しない)回答でもいいこと。
- ・ 事例2での設問要求に対して、グラフなどが出された場合でも解釈に時間をかける必要がない(特徴的な数値から回答を導き出す)こと。
- ・ 事例3での設問要求に対して、専門的知識の強くない(同行営業や研修など)回答でもいいこと。

等大手専門学校で学ばなかったことでしたが、回答に納得感があり腑に落ちる点が多かったです。

その後も、学習が進んでいき因果関係を意識した文章で回答することができるようになりました。

また、各事例の設問に回答しているという自信も出てきました。

そんな9ヶ月間はあっという間に過ぎ、2次試験当日を迎えたのですが・・・。

<2次試験2回目の不合格>

試験当日は、MMCで学んだ型をベースに回答を作成したのですが、事例1、2と問題が進むごとに自信がなくなっていました。そして、試験結果は予想通り不合格に。

原因は、いつくかあったと思うのですが、今思い出すと以下のりました。

- ・事例1で、設問の題意を捉えきれずに回答の方向性を誤ったこと。
- ・事例4で、得点源とすべき経営分析、WACC、固定分解でポカミスを連発したこと。

<1次試験からの出直し勉強>

2次試験に2回失敗し、一からやり直しとなってしまいました。

気持ちの立て直しに少し時間がかかりましたが、それでもせつかくここまでやったのだからと一念発起して学習し直しました。

2年かけて1次試験に合格した時、2次試験を受験する上でどうするか悩みました。

令和2年の1次試験はオリンピック開催の影響で7月に実施されたため、同年2次試験までは3ヶ月あります。

そこで、最後のチャンスと考えて短期的に徹底して取り組むことに決め、どのように学習するかを考えました。

- ・MMCで通学受講する。
- ・大手予備校で通学受講する。
- ・他の学校で通信受講する。

この選択肢を挙げた上で、再度MMCを選びました。理由は、

- ・事例ごとに、回答の型が決まっていて、方向性のある程度理解していること。
- ・演習から回答返却・アドバイスの期間が短く、短期的に効率的な復習ができること。

という点を考慮してのことでした。

そこからは、2回目の受験で失敗した「題意に忠実に回答する事」「ポカミスをしない事」を徹底して進めました。

事例ごとの回答の型はだいたい頭に入っていましたので、あとは80分間で回答するというタイムマネジメントを意識しながら学習を進めていきました。

そして、今回3回目にして2次筆記試験に合格することができました。

<最後に>

今年はコロナ禍ということもあり、例年にない環境下での学習をすすめていく中、心許なくなる部分もありました。

それでも、MMCの講師の先生方は「いつも通り、MMCで学んだことを、常に本試験と思って解くこと」の大切さを常に伝えてくださいました。

私も、MMCの解法に間違いがないと感じてここまで取り組み、結果を出すことができました。あらためて、MMCの先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。